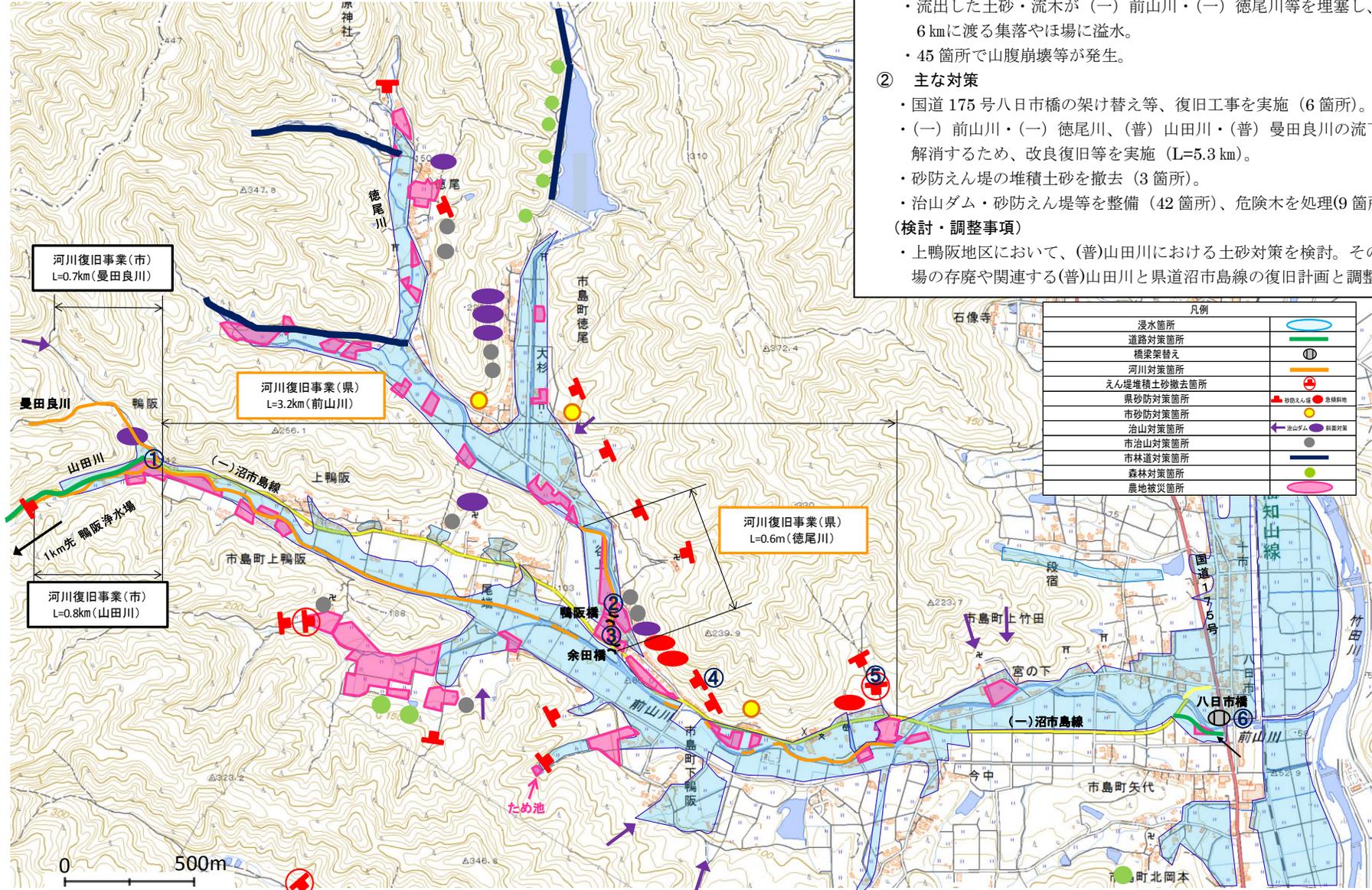


5 復興に向けたこれからの取組み（竹田川流域における重点地区での取組み）

(1) 前山地区

前山地区



① 被災状況

- ・国道 175 号八日市橋の橋台が洗掘され落橋したほか、大規模な土砂流出等により、県道沼市島線等で通行止めが発生。
- ・流出した土砂・流木が(一)前山川・(一)徳尾川等を埋塞し、河川沿いの約 6 kmに渡る集落やほ場に溢水。
- ・45 箇所で山腹崩壊等が発生。

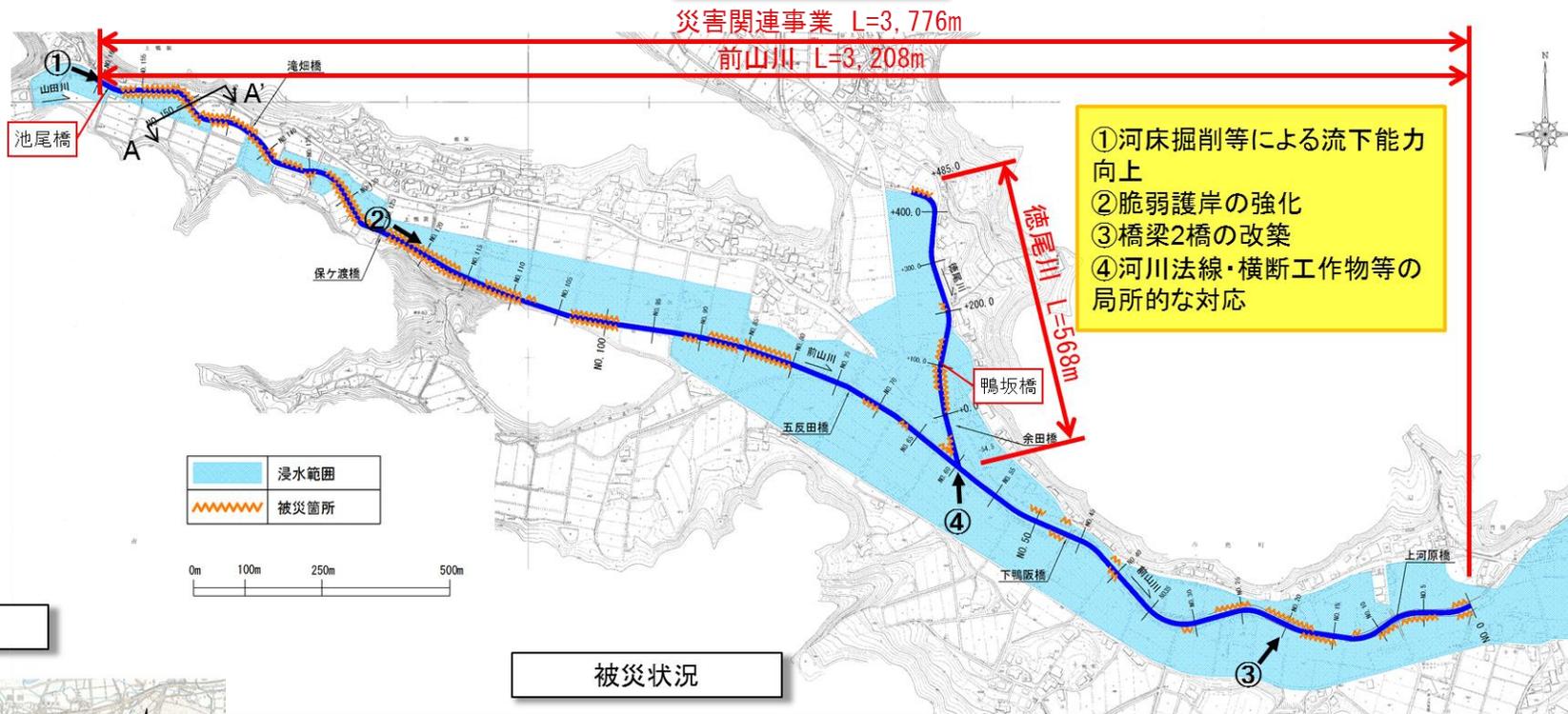
② 主な対策

- ・国道 175 号八日市橋の架け替え等、復旧工事を実施 (6 箇所)。
- ・(一)前山川・(一)徳尾川、(普)山田川・(普)曼田良川の流下能力不足等を解消するため、改良復旧等を実施 (L=5.3 km)。
- ・砂防えん堤の堆積土砂を撤去 (3 箇所)。
- ・治山ダム・砂防えん堤等を整備 (42 箇所)、危険木を処理(9箇所)。

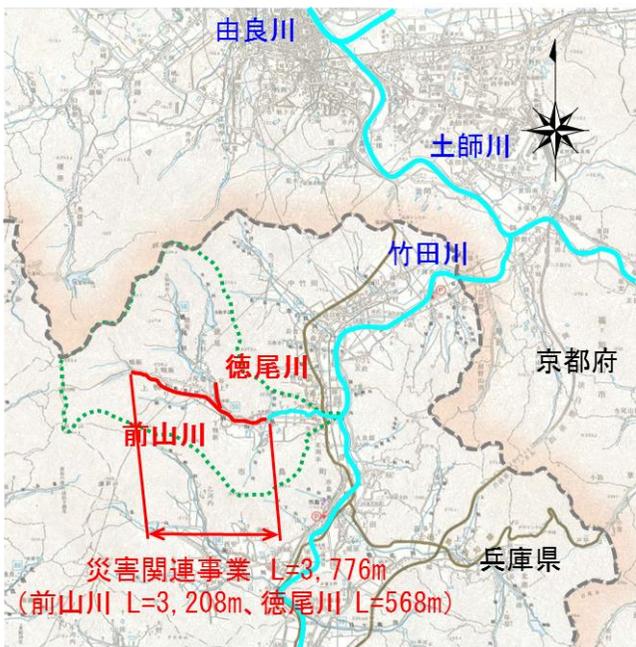
(検討・調整事項)

- ・上鴨阪地区において、(普)山田川における土砂対策を検討。その際、鴨阪浄水場の存廃や関連する(普)山田川と県道沼市島線の復旧計画と調整。

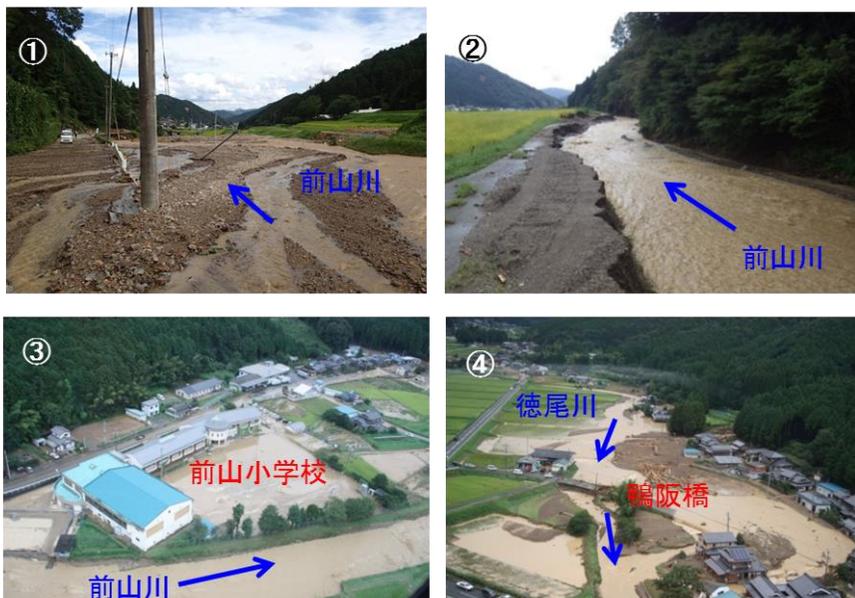
平面図



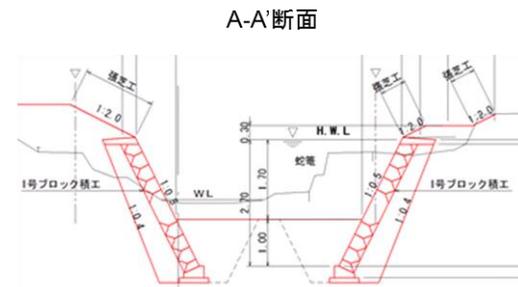
位置図



被災状況

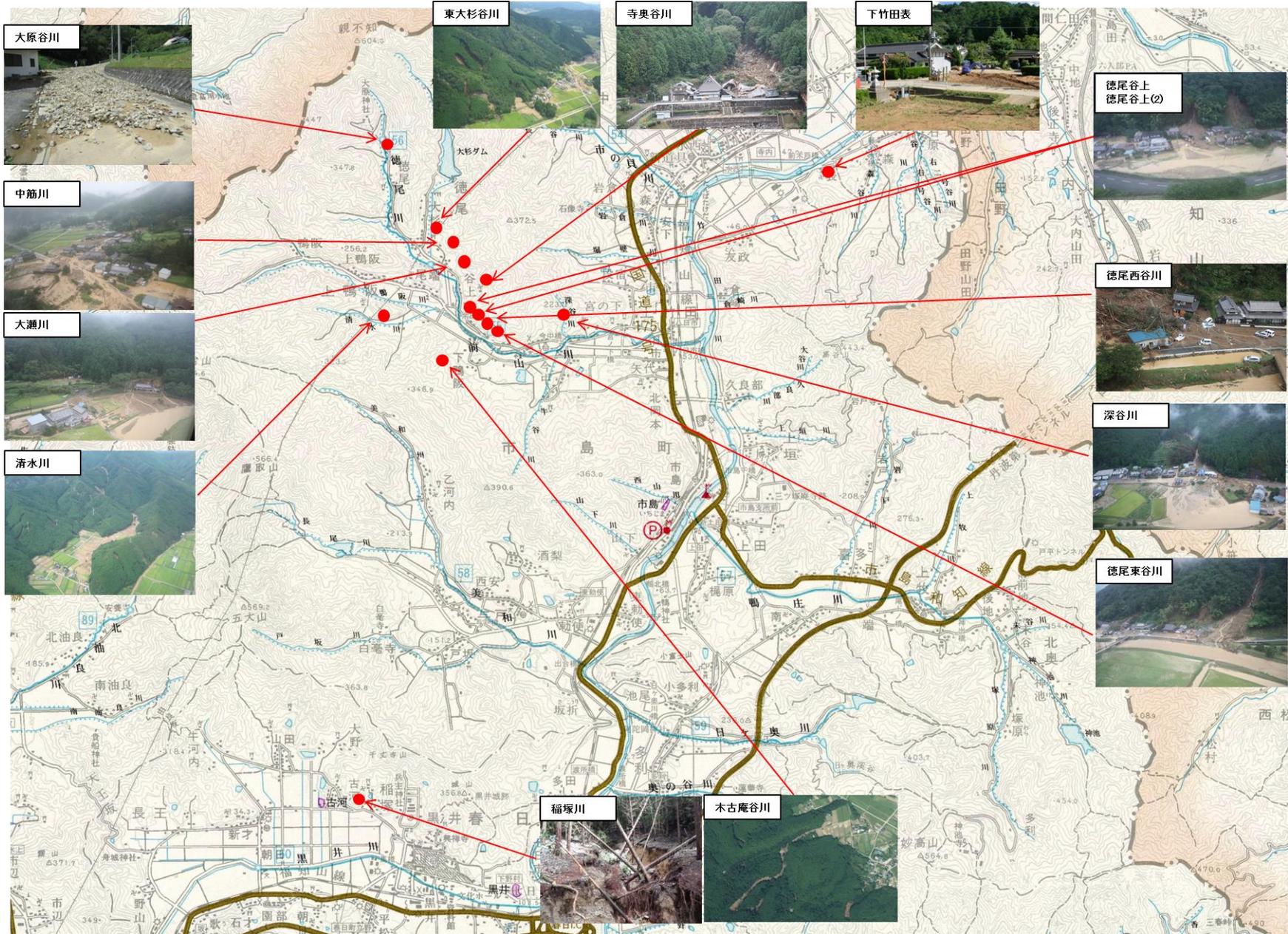


改修代表横断面



改修後の河道断面で8月豪雨の流量は概ね流下

前山地区 土砂災害位置図



砂防えん堤整備例

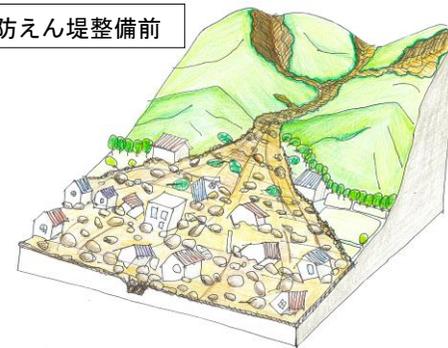


酒垂川：三田市藍本

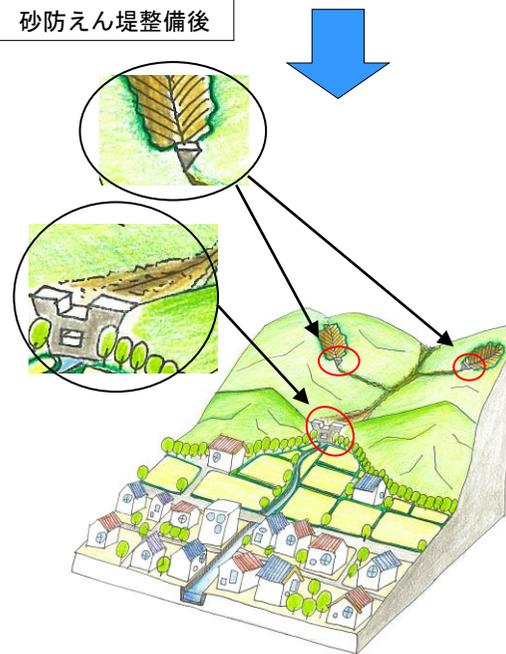
深谷川



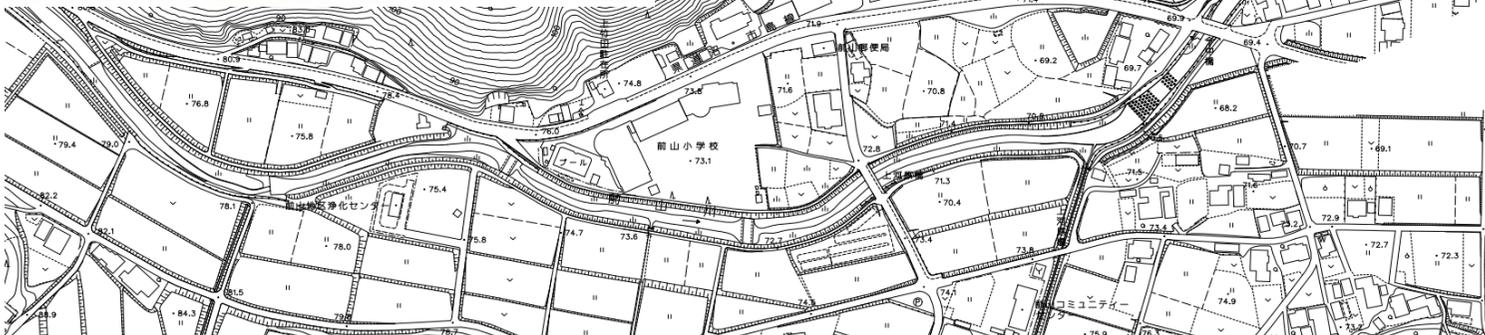
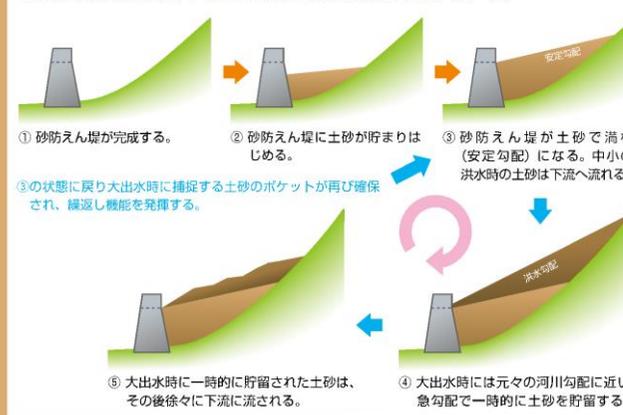
砂防えん堤整備前



砂防えん堤整備後



土砂が満杯になった後も大出水時には一時的に土砂を貯めることができます。(③→④)その後自然に土砂が流下することで繰返し機能を発揮します。(⑤→③)



- 新規えん堤位置
- 既設えん堤位置
- 砂防指定地

(八日市橋)

[被災状況]

- ・ 大規模な出水により、八日市橋付近において洗掘が起こり、落橋するに至った。



[これからの取り組み]

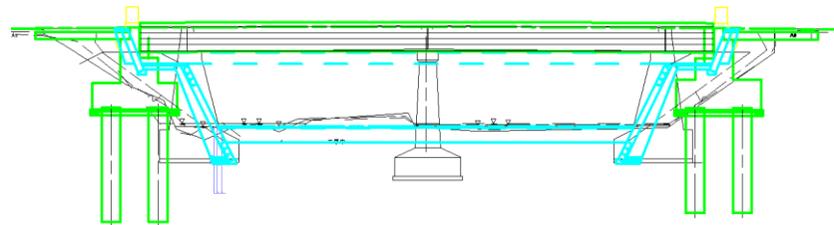
- ・ 橋梁中央にあった橋脚を無くして河積を拡大することで上下流と同等の断面を確保し、流水を安全に流下できる構造にして架け替えを行う。



(右岸)

側面図

(左岸)



(2) 竹田地区



- ① 被災状況
- 流出した土砂・流木が、地区内5河川（(一)市の貝川、(普)岩倉川、(普)堀壁川、(普)水上川、(普)才田川）の国道175号旧道とJR福知山線との交差部を埋塞し、181戸が浸水するなど被害が拡大。
 - 17箇所で山腹崩壊等が発生。
- ② 主な対策
- (一)市の貝川の流下能力不足を解消するため、改良復旧等を実施（L=約1.4km）。
 - 砂防えん堤等の堆積土砂を撤去（2箇所）。
 - 治山ダム・砂防えん堤等（15箇所）を整備。
- （検討・調整事項）
- 地区内を流下する4河川（(普)岩倉川、(普)堀壁川、(普)水上川、(普)才田川）について、面的な治水対策を検討。

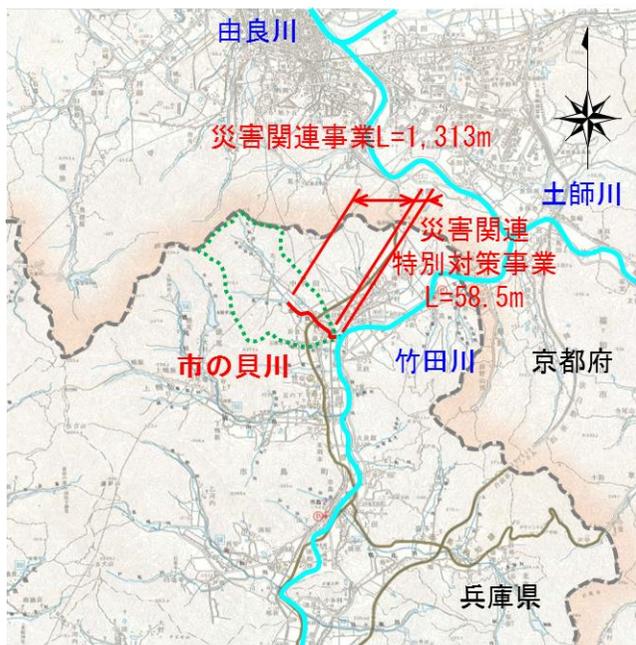
凡例	
浸水箇所	
道路対策箇所	
河川対策箇所	
えん堤堆積土砂撤去箇所	
県砂防対策箇所	
治山ダム堆積土砂撤去箇所	
県治山対策箇所	
市治山対策箇所	
森林対策箇所	
農地被災箇所	

災害関連事業・災害関連特別対策事業 (一) 由良川水系 市の貝川

平面図



位置図

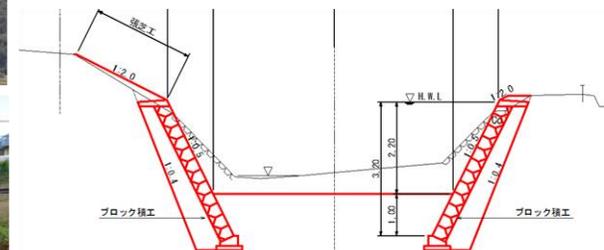


被災状況



改修代表横断面図

A-A'断面



改修後の河道断面で8月豪雨の流量は概ね流下

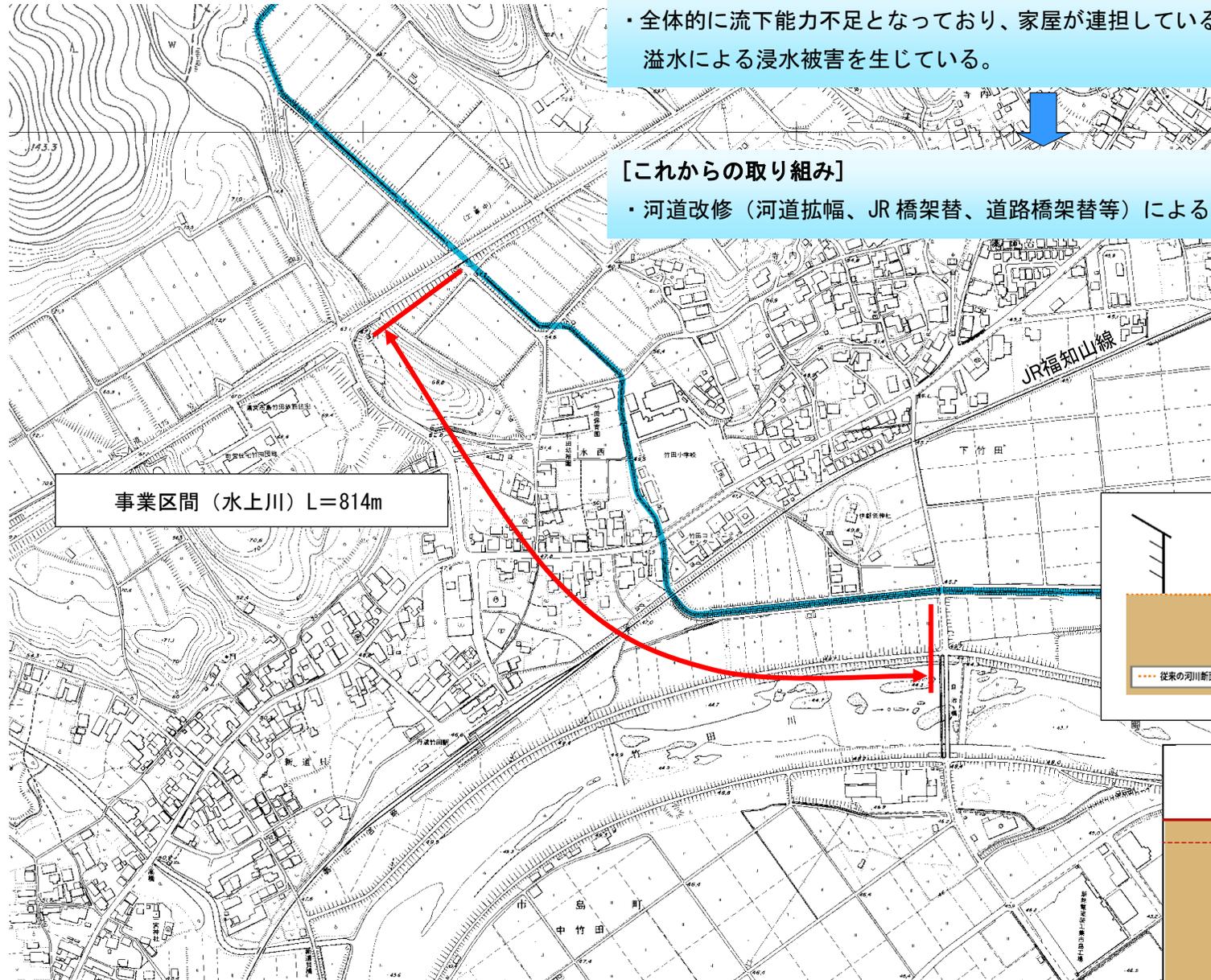
(普)水上川

[被災前の状況]

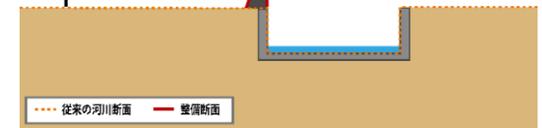
- ・全体的に流下能力不足となっており、家屋が連担している県道下流から国道までの間で溢水による浸水被害を生じている。

[これからの取り組み]

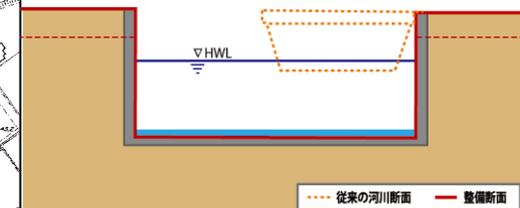
- ・河道改修（河道拡幅、JR 橋架替、道路橋架替等）による溢水防止対策を実施する。



(パラペット設置イメージ)



(河道拡幅イメージ)



(普)堀壁川

[被災前の状況]

- ・家屋が連担している区間（市道～国道間）においては、堤防満杯で概ね計画流量を流下可能。
- ・国道下流の左岸の雇用促進住宅付近は、河道湾曲しており、H26.8 豪雨においても河道から溢水や土砂の流出が発生している。

[これからの取り組み]

- ・湾曲部等からの溢水防止のための検討を行い、対策を実施する。



(普)岩倉川

[被災前の状況]

- ・H19年度以降に砂防事業で改修されており、砂防事業計画における目標流量は、家屋連担区間において概ね確保されているが、堆積土砂や流木等の影響により浸水被害が発生している。



[これからの取り組み]

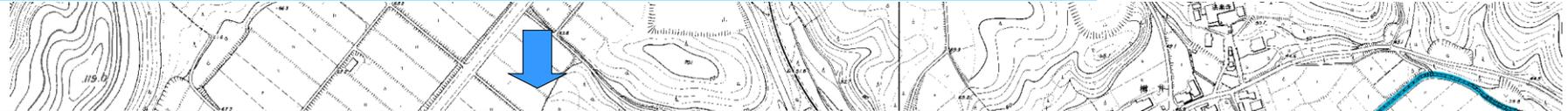
- ・堆積土砂や流木に対する対策等、洪水時の河道能力維持に向けた検討を行い、対策を的確に行う。



(普)才田川

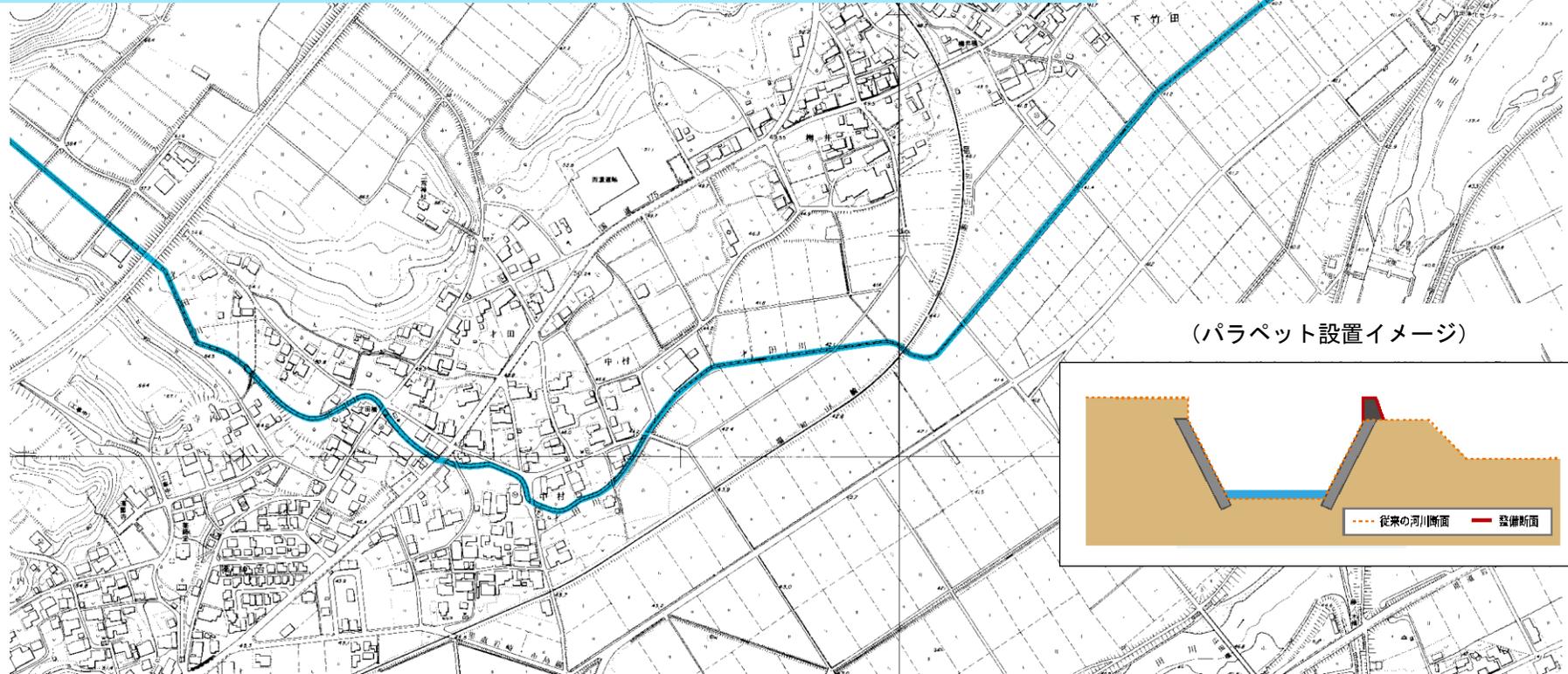
[被災前の状況]

- ・ 全体的に流下能力不足となっており、家屋が連担している県道下流から国道までの間で溢水による浸水被害を生じている。



[これからの取り組み]

- ・ 家屋連担区間を対象にパラペットによる溢水防止対策の検討を行い、実施する。



(3) 美和地区

美和地区

- ① 被災状況
- ・(一) 美和川は、流下能力不足、河床洗掘等により、護岸が損壊。
 - ・12箇所で山腹崩壊等が発生。
- ② 主な対策
- ・(一) 美和川の流下能力不足を解消するため改良復旧等を実施 (L=約 1.3 km)。
 - ・砂防えん堤等の堆積土砂を撤去 (3箇所)。
 - ・治山ダム・砂防対策工 (9箇所) を整備、危険木を処理 (4箇所)。
 - (検討・調整事項)
 - ・流木被害の大きかったキャンプ場・白毫寺周辺における砂防対策工等を検討 (対策位置、対策工法)。



災害関連事業 (一) 由良川水系 美和川

平面図



位置図

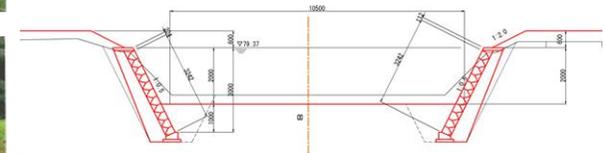


被災状況



改修代表横断面図

A-A断面



改修後の河道断面で8月豪雨の流量は概ね流下